

建築展^{Vol.25}

第53回まちづくり研究セミナー
日韓合同学生ワークショップ

都市の ツボ をつく

9月16日(土) 10:00~17:00 中間発表会(リモート)
10月7日(土) 13:00~18:30 講演会「空間から認識へ」+ワークショップ
10月8日(日) 9:45~17:30 最終講評会
※10月7・8日 会場: JICA(ジャICA) 九州
講師: 2022年 JIA 新人賞受賞者 畑友洋氏(畑友洋建築設計事務所)



(公社)日本建築家協会
九州支部北福岡地域会
JIA国際支援活動支部助成事業事業

都市の ツボをつく

建築展^{Vol.25}
第53回まちづくり研究セミナー
日韓合同学生ワークショップ



講師

2022 年 JIA 新人賞受賞
畑友洋建築設計事務所
畑 友洋氏

1979 年、黒崎駅前に建設された旧そごうビルは、2000 年にそごうが退店後、さまざまな運営者に入れ替わりながら、現在は管理者不在のまま放置されている。北九州市の副都心である黒崎は、東西に走る鉄道によって概ね北に工業、南に居住という都市構造をもっており、駅は 2 つの側面の境界であり、重要な接点である。旧そごうビルはこの駅を中心とし南の居住エリアに同心円状に拡張する都市の中核であるにもかかわらず、長期的なビジョンが見えないまま放置されているのである。それは建築そのものや運営における問題であると同時に、まぎれもなく都市の問題である。この課題では、旧そごうの跡地を都市の問題として捉え、黒崎の中核地としてどのような活用、計画が都市にとって有効であるかという問いに向き合うことである。既存建築物を活用してもよいし、全くの更地に戻し計画してもよい。いずれにせよ都市の問題として捉えるのであれば街区や道といった都市構造、八幡西区役所などの主要な都市機能などについてリサーチし、この場所においてどのような活用が有効であるかという戦略を考える必要がある。この旧そごう跡地を黒崎の都市の一部として回復し、生き生きと脈打つ場所としてのビジョンを描き出してほしい。

畑 友洋



参加チーム

九州産業大学	東亜大学
九州工業大学	東西大学
日本文理大学	釜山大学
北九州市立大学	釜慶大学
近畿大学	慶星大学
九州女子大学	東義大学

九州支部北福岡地域会会員

浅田 典生	杉野 友紀
安東 秀夫	鈴木 基正
安東 崇夫	平 憲治
石垣 充	高嶋 千年
石川 哲夫	高瀬 松之助
瓜生 雅勝	高橋 雅彦
衛藤 衛	高濱 和久
大久保 裕文	戸村 一樹
大橋 久一	豊川 裕子
小川 宏	永澤 正哉
小原 光晴	中條 雅文
加藤 史衛	野田 幸三郎
金子 英造	服巻 良樹
久保 直	福田 展淳
久保 隆一	藤本 孝行
熊谷 平一郎	古森 弘一
後藤 友哉	松岡 伸二
佐久間 治	松島 逸人
佐藤 真紀	三迫 靖史
塩釜 直人	満井 輝吉
白川 直行	

(五十音順)

九州支部北福岡地域会所属事務所

(株) ATOM 建築設計室	平 建築設計事務所(有)
R & B 設計室(建築)	(株) タカシマ建築設計
(株) 安東建築設計事務所	(株) 高橋環境建築設計
衛 藤 建築研究所	(株) 豊川設計事務所
(有) 大久保計画アトリエ	(株) 高浜設計一級建築士事務所
(株) 小川建築設計事務所	(株) トーケン設計
(株) 加藤建築設計事務所	(株) 東畑建築設計事務所 北九州支所
(株) 金子英造建築設計事務所	(株) 東洋アンドアソシエイツ
(株) 木賀設計事務所	(株) 中條雅文建築設計事務所
(有) 楠木建築設計事務所	野田 建築設計事務所
(株) 久保建築設計	(株) 古森弘一建築設計事務所
(株) 熊平建築設計事務所	PRAISE 一級建築事務所(株)
(株) 河野建築設計事務所	(株) 満井設計
(株) ごとう計画・設計 福岡営業所	(株) 洋建築計画事務所
(株) 小林建築設計事務所	
(株) 佐藤真紀&FUN 建築設計事務所	北九州市立大学
(株) 白川直行アトリエ	九州工業大学
(有) 杉野建築設計事務所	西日本工業大学
(株) スズキ設計	
(株) 西部交通建築事務所	

(五十音順)

【主催】まちづくり研究セミナー、(公社) 日本建築家協会 九州支部北福岡地域会

【共催】北九州市

【お問い合わせ】JIA 北福岡地域会事務所 info@jia-kitafukuoka.org

